

編集後記

『人間科学研究』第2巻第1号をお届けします。平成19年4月の人間科学部の開設と人間科学会の発足から、あっという間に1年半が経ちました。

平成20年度は、ベテランからフレッシュマンまで専任教員が大勢赴任され、いよいよスタッフも充実してきたという印象です。いわゆる教師としてだけではなく、アスリートやアーティストを兼ねた多彩な顔ぶれが揃い、新たな息吹を感じさせてくれています。

創刊号の編集後記で「スポーツヒーローへの憧れ、こどもの成長発達への眼差しを大切にし、想像力が創造力に結び付き、人間力が培われるような活動を展開していきたい」と記しましたが、自身が豊富な経験を持つスポーツ学科教員の科学的合理的な指導により、各種競技会や選手権大会において出場した学生の戦績が向上していること、オープンピアツツアというイベントを通して、こども学科の教員・学生と地域のこども・保護者が身近に交流する機会を得たこと等、徐々に実績を上げています。

まもなく季節は、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」を迎えます。しっかり食べ、しっかり運動し、しっかり書物を読む。平素の教育、すなわち、人間づくりの営みの基本は、これに睡眠（しっかり眠る）を加えた四つだと思います。鑑賞する人々に感動を与える優れた芸術作品もこの基本の上に創造されるものではないでしょうか。常に人間の存在や生活の基本を忘れない人間科学でありたいと願っています。

さて、今号はこども学科6件、スポーツ学科1件の研究成果が寄せられました。どうぞご高覧ご批評くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

2008年9月吉日

編集委員長 馬 場 治

《投稿された論文等に関する著作権は基本的に人間科学会に帰属します》